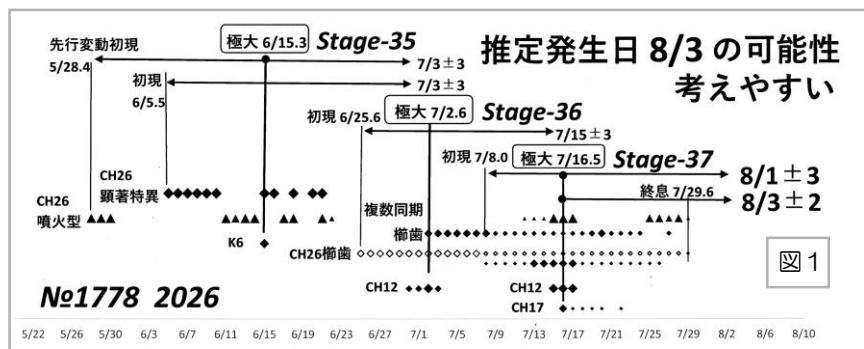


※首都圏直下・南海トラフ等大型地震は前兆検知から発生までの日数は数日の可能性が高いですが、No1778前兆は30年の観測歴上最長継続の最大に難解な変動です。No1778前兆につきまはてはPHP新書「地震予報」に記したため、読者の皆様に出版後の前兆変動の変化について続報公開しています。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。2024.1/1発生の「能登半島地震M7.6」につきましては、2023.12/31の午前11時に、M7.3±0.5の地震が1/2±2に発生する可能性「予報」を観測情報配信参加の皆様に配信し、地震発生に間に合いました。No1778に関しては解説資料の32頁～35頁を参照下さい。

※2024.8/8発生の日向灘M7.1地震は、7/27 高知観測点の複数観測装置に前兆変動極大が綺麗に観測され（前兆規模M6.1±0.5、海深補正M0.9±0.3、推定規模M7.0±0.5）、前兆極大から地震発生までの日数はプレート境界型の遅いパターンTmap=12日で発生致しました。またその後は一切大型地震が推定される前兆変動は観測されておりませんでしたので、南海トラフ巨大地震発生の可能性は考えられないことを、毎日、高知観測点全観測基線波形を掲載して、日々配信の観測情報で配信公開致しました。皆様の本観測研究に対するご支援（情報配信参加）を賜りたくお願い申し上げます。

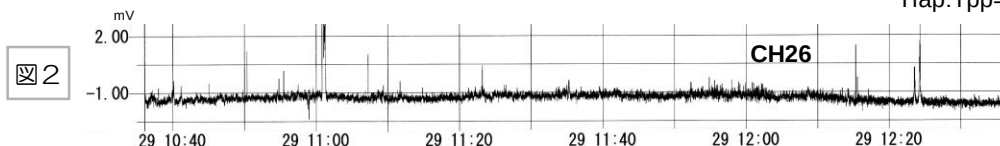
No1778 Stage-37 の変動終息の可能性 7/29.6 → 8月3日 (8/3±2)



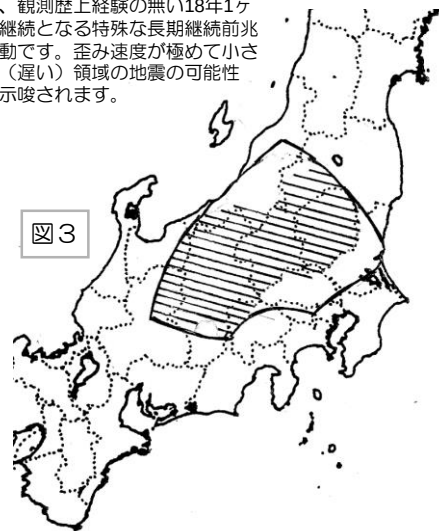
対応地震発生の可能性

◆18年1ヶ月継続となるNo1778変動の最終 Stage 認識の Stage-37 の変動「櫛歯変動」が本日7/29過ぎに静穏化しました。本日12時前より、図2基線のとおり極めて静穏基線となりました。一応29.6を静穏化とします。これほど静かな基線は本当に久しぶりです。他の関連変動も認められず、Stage-37 変動終息の可能性が高いと考えます。

◆7/16.5極大～終息7/29.6の関係から、Tfap:Tpp=6:1 (Tmap:Tpp=3.9:1) 経験則を使用しますと、8/3±2発生の可能性が示されます。初現～極大の関係からは、8/1±3が示され、8/4迄となりますので、8/2～8/4発生の可能性が考えやすい。



No1778前兆変動は2008年7/4初現で、観測歴上経験の無い18年1ヶ月継続となる特殊な長期継続前兆変動です。歪み速度が極めて小さい（遅い）領域の地震の可能性が示唆されます。



●推定領域：図3の実線領域内＝大枠推定領域
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域

●推定規模：主震＋余震型の場合＝M8.0±0.3 (M7.7～M8.0の可能性高い) または 複合地震活動
※複合の場合はM7以上地震の断層長LkmがLog L=0.5M-1.8 (Utsu.)式で、合計で110～150km程度となる複合地震活動の可能性有（例：M7.1±0.3+M7.3±0.3等）
○地震発生に伴う震源に近い火山での噴火の可能性は現状では低い見解
7/25～29まで噴火型変動が観測されましたが変動期間中のため噴火の前兆である可能性は低いと見ています。

●推定時期：8月3日（最大誤差：8/3±2） ※本推定を覆す変動が観測された場合は続報で修正させていただきます

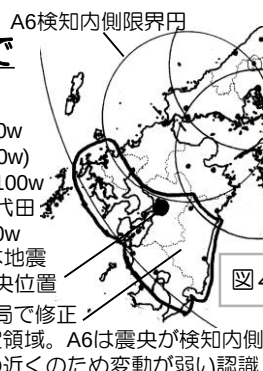
○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：午前9時±2時間 or 午後6時±3時間
(複合地震では当てはまらない場合有)

※18年継続する観測歴上最長の変動は観測例がない初めての体験で、解析が極めて難しいため推定に誤りがある可能性は否めません。お許しください。
※推定に近い地震が発生した場合でも被害の少ないことを祈ります。

参考：7/28 熊本地震 7/28±発生推定 推定規模 M6.8±0.5と誤差内で時期・規模共に推定成功したが、変動の向きを誤認し領域推定失敗

◆No3675 (7/1配信) 観測情報（初報）から秋田観測点A1,A6、高知観測点K6,K7にBF変動が観測され、特にA1にはPBF変動が観測されたこと、この変動から7/28±9発生、推定規模M6.8±0.5を推定報告し、続報も続けました。しかし、A1基線からの変動の向きを誤認し、領域推定は失敗しました。前回の2016年4月発生の熊本地震のTmap日数は29日でした。今回のTmap日数は30日。ほぼ同じTmap日数となります。（Tmap日数＝変動極大～地震発生迄の日数）今回の熊本地震及び関連で被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。またお亡くなりなられた御霊に哀悼の意をささげます。

C) Copyright 2026 YSBO ハケ岳南麓天文台



A1=舞鶴100w
(A6=宇部100w)
K6=八幡浜100w
K7=安芸千代田100w

令和8年熊本地震
M7.1本震 震央位置

A1 舞鶴局で修正した推定領域。A6は震央が検知内側限界円の近くのため変動が弱い認識